

目次

年頭の辞 ..... 内海清温... 1

東京湾の高潮およびその対策 ..... 梅野康行... 2

東京湾江東地区高潮対策事業について ..... 宮崎敏夫... 6

建設機械の現状(その1)

I. 土工機械

I-1. ショベル系掘削機 ..... 杉田山中庸夫...12

I-2. ブルドーザ ..... 石橋孝夫...20

I-3. グレーダ ..... 新倉里二...26

I-4. ロータ ..... 若原倉里...31

II. 浚渫船

II-1. 最近のバケット浚渫船 ..... 両角常美...38

II-2. 最近のポンプ浚渫船 ..... 内田豊...43

「座談会」

骨材の需給に関する問題について ..... 土屋雷蔵...48

「ほんやく」

作業用車両の運行性 ..... 永盛峰雄...60

「文献調査」

I. Formed Asphalt による舗装工事 ..... 文献調査委員会...67

II. 生コンクリートの新しい輸送車 ..... 文献調査委員会...68

「支部便り」

関西支部第5回建設機械展示会 ..... 関西支部...69

建設機械新機種発表会 ..... 中部支部...70

ニュース ..... (編集部)...71

行事一覧・編集後記 ..... (坪・両角)...72

本協会の団体会員一覧

◇表紙写真説明◇

電源開発奥只見ダム

施工 鹿島建設株式会社

奥只見ダムは、只見川と北の岐川との合流点須原口より下流 1.5km の地点に位置し、高さ 157m の直線重力式コンクリートダムで、当社施工により昭和 32 年 7 月に着工し、昭和 35 年 12 月に一部発電を開始し、昭和 36 年 12 月に完成した。

本工事において特筆すべきは、当社の技術員を動員して研究した放射状せん孔法により、昭和 32 年度中に堰堤掘削の概成をなした特殊大発破、長壁式スライド法により最高の能率を上げた鋼製型わくの使用、大型せん孔機ドリルマスターによるベンチカット工法等である。

奥只見ダムの規模

ダム	堤長	475 m	使用水量	最大時	249 m <sup>3</sup> /s
	堤高	157 m	有効落差	最大時	189.3 m
	堤体積	1,619,000 m <sup>3</sup>	発電力	最大出力	36 万 kW
貯水池	満水位	750 m	年間発生電力量		5 億3,410 万 kWh
	たん水面積	11.5 km <sup>2</sup>			
	有効貯水量	4 億 5,800 万 m <sup>3</sup>			